

大柝小・中学校は市の指定を受け 情報教育を先進的に取り組んでいます

遠隔交流(テレビ会議)で他校との情報共有

大柝小学校は、高知大学に支援していただきながら吉川小学校(香南市)と授業交流を行っています。7月には、1, 2年生が『地域のクイズを出し合おう』をテーマに、交流を行いました。(広報香美2021年8月号掲載)



▲小学年低学年の授業交流

大柝中学校は、生徒会が中心となり月1回、徳島県の木頭中学校との交流を行っています。県をまたいだお隣の学校で、地域の特色もよく似ています。

今では、生徒が互いに行き来するようになり交流も深まってきました。

2月下旬には、馬路中学校や北川中学校も加わり、特産品の**柚子**を互いに語る『中学生によるYuzuサミット』を計画しています。



▲大柝小イメージキャラ『もんちゃん』



▲Yuzuサミットロゴマーク

授業でのICT活用で深い学び

パソコンをノートや鉛筆、消しゴムなどと同様の機能を持つ道具として利用し、授業づくりを進めています。『生活・総合的な学習』での調べ学習や、まとめでの活用も進んでいます。小学校では、少人数複式での活用や電子紙芝居など、中学校では、ヘッドセットを使った英語での授業や実技教科を含め、すべての教科で活用されるようになりました。

令和3年には大柝小学校は『算数』、大柝中学校では『理科』で児童・生徒用デジタル教科書を導入しました。次年度には、英語科でデジタル教科書が全国の小・中学校に追加されます。

▼大柝中学校



▲大柝小学校

Facebookで物部町の保・小・中が情報の共有と発信



Facebook QRコード
ホットな記事と食レポは
こちらから！

保・小・中は、Facebookを令和2年度から共同で運営しています。大柝の自慢でもある毎日の給食を中学生が**食リポ**したり、保・小・中からの週1回のホットな情報をお届けしています。物部町内外から、応援をいただき子ども達の励みになっています。

昨年度は、児童生徒の発表資料にQRコードやAR(拡張現実)を使った資料も発信しました。

リモート授業で緩やかに新学期へ

コロナ禍のなか、大柝中学校ではリモート授業を始めています。

8月30、31日の夏休み終りの2日間を使って、1日4時間授業を実施しました。朝の会では、健康観察も取り入れ、久しぶりの再会に生徒達は喜んでいました。少ない時間での準備でしたが、日頃の取組の成果もあり、無事に行うことができ、3年生については、リモート昼食会も行うことができました。

また、3学期の開始に向けても同様の取組を行っています。



◀リモート授業の様子

ネット学習で家庭学習の充実

大柝中学校では、市内の中学校に先駆けて自宅で利用するための『ネット学習』を令和3年4月末からスタートしました。主に、市が提供している『学習教材』などを使って家庭での学習を進めています。

今の教科書はQRコードも使い、自分のペースに合った学習が進められるようになってきました。また、年度末には、国のCBTシステム(メクビット・学習教材等のデータバンク)がスタートしますので、小学校との合同研修などを通して準備を進めています。



家庭学習用一式
※PC、ヘッドセット、バッグ等

高知工科大学の最先端技術を体験する



工科大学の最先端技術『バーチャルゆず体験』を試しました。

これは、企業が工科大学と共同実験を行っているものです。当日、収穫側はスマートグラス(メガネのようなもの)を使い、パソコン側から遠隔で指示を受け収穫を行いました。近い将来、本格導入が期待されるARの体験ができました。

中学校では、工科大学の力を借りながらICT分野で最先端の教育を進めていきます。

◆大柝小・中学校の特認校制度 令和5年度スタートを目指して準備中！

※特認校制度とは、香美市内の児童生徒を対象に、小中学校で通学区域を外し物部町外からも入学(転入学)を認めるものです。

◆大柝中学校の山村留学制度の実施を検討中

※山村留学制度とは、寮を準備し、香美市外から生徒を募集するものです。